

山が呼んでいる

～石鎚山系とともに生きていく～

まちの背後にそびえるシンボル

日本百名山の一つに数えられ、西日本最高峰の石鎚山を中心に、愛媛県と高知県の県境に沿って東西約60kmに広がる石鎚山系。標高1500m以上の山々が20座以上も連なる豊かな自然に恵まれ、素晴らしい景観を見せてくれます。登山やサイクリングなど、さまざまなアクティビティを楽しみに、年間を通じてたくさんの人が訪れています。

多くの人々に愛されている石鎚山系ですが、その背景には草刈りや登山道修繕のほか、希少植物の保護、獣害対策、施設の維持管理など多くのボランティア団体を取り組み、活動しています。維持管理には多くの人手やお金が必要ですが、ボランティアの高齢化、寄付金の減少など課題は山積み。娯楽の多様化などによって自然に触れる機会が減り、西条市に住んでいる方も関心がない、行ったことがない方が増えているという声も聞かれます。

身近にある素晴らしい自然に触れて、楽しんでみてほしい。これから人々に愛されるふるさとの山であってほしい。そんな思いで活動が続いている人たちのおかげで、私たちは石鎚山系の自然を存分に楽しむことができます。

石鎚山系
公式 WEB サイト

石鎚山系の解説からアクティビティなど、幅広い情報を掲載しています。山系を知るなら、ここをチェック！



伊予富士山頂から。中央一番奥が石鎚山

窓を開ければ、雄大に佇む石鎚山系。今回の特集では、山々を守り、その魅力を伝える人々に迫ります。この素晴らしい自然を少しでも身近に感じ、足を運んでみてください。

全国的に山での遭難事故が相次いだ1998年ころ。石鎚山系も例外ではなく、地元の登山愛好家たちは危機感を抱いていました。「標識の方向がずれていたり、道が荒れていたりすると遭難につながります。瓶ヶ森の白石小屋に集まりよる人らが中心になって、地図に載っている道は自分らが整備していかないか」ということで、山のボランティアNetworkが結成されました。

25年前から続く春と秋の登山道整備は、今年で47回目を数え、石鎚山の二の鎖元にある公衆トイレ休憩所の維持管理、土小屋テラスでの登山情報の提供や安全登山指導なども行います。「トイレの維持管理は週2回、メンバーが入れ替わりで山に登り行っています。尿を分解するバイオトイレですが、トイレットペーパーは分解できず一緒に捨てられないため、分別された紙は全て私たちが持って帰ります。トイレ・休憩所の掃除や備品の補充、施設の傷み具合の報告など、日本一美しい山のトイレを目指して取り組んでいます」。

自然を楽しむ。その先に

本格的な登山シーズンを迎え、多くの人が訪れる石鎚山系。雄大な自然の中で登山を楽しめる環境の裏には、石鎚を愛する人たちの並々ならぬ努力がありました。

何気なく歩いている登山道や誰もが使う山のトイレは、こういった人たちの積み重ねのおかげで、快適に使うことができるのです。

活動を次の世代へ

年2回の登山道整備には毎回50人ほどが集まりますが、整備できるエリアはごく一部。「石鎚山系は広い。他の団体や行政とも連携しながら活動を進める必要があります。一つ核となる団体を作って、手をつないでいけたらという思いから、昨年NPO法人化。活動が途絶えないよう、後継者へバトン渡したい」と大好きな山を守って

いくための展望を語ります。

登山道整備の参加者からは、「普段自分が歩きよるところは、こうやって維持されよんやね。すごく新鮮で気持ちがいい」、そんな声が聞かれるそうです。「登山道整備は自然に親しむきっかけにも。山頂に立つ爽快感だけでなく、花や鳥を見たり、ブナ林の中を歩いたり、せっかくの石鎚山系の自然を楽しんでほしい。ぜひ一度参加してほしいと思います」。まずは関心を持って自然に触れて楽しんでみる。そうする内に、自然を守るという意識につながっていくと渡辺さんは教えてくれました。

石鎚山のきれいな環境を みんなで守ろう！

石鎚山の快適な登山環境の整備には、毎年多額の費用が必要です。活動資金の7割を占める皆さんからのトイレ利用協力金（トイレチップ）や寄付金が年々減少傾向にあり、維持管理が難しくなっています。皆さんに長く愛される石鎚山であるために、環境保全応援団への加入（ご寄付）やトイレチップのご協力をお願いします。

▶整備・環境保全に使われます

- 二ノ鎖下にある石鎚山公衆トイレ休憩所の維持管理
- 土小屋登山ルートへの修繕
- 登山利用者へのマナー啓発

●環境保全応援団へ加入（ご寄付）

- 企業・団体 一口3万円（1年）
- 個人 一口1万円（1年）

※加入者にはトイレクーポン券（12枚綴り）の返礼あり

●トイレを使ったらチップを！

利用の際は協力金100円をお願いします。



▲トイレチップ（100円）は
トイレ横の投入箱へ



▲昨年、トイレの壁面を塗り替え

▶問合せ

石鎚山クリーンアップ協議会事務局
（市庁舎新館2階 観光振興課内）
TEL 0897-52-1690
Eメール：kanko@saijo-city.jp



1_トイレ清掃は洗剤が使えないため、なかなか汚れが落ちないそう 2_周辺の特定外来種の植物を見つけ除去 3、4、5_年2回の登山道整備。各々草刈り機や熊手を手に、役割分担しながら行う 6、7_登山道整備の研修を実施。整備には特殊な技術が必要。熟練の技を次の世代へつないでいく



NPO法人山のボランティアNetwork
事務局長

に た か
渡辺 二孝さん

今治市在住。69歳。メンバー24人を率いる。27歳のとき、妻と登った冬の石鎚山の幻想的な風景に魅了される。それ以来全国の山々を登りながら、石鎚山系などで登山道整備や自然保護活動が続けている



身近な自然の面白さを伝える

石鎚森の学校は、「石鎚の森に学ぼう、愉しもう、そして命を輝かそう」のコンセプトのもと、石鎚山の魅力や楽しさを伝えようと、団体や地域の枠を超えて活動しています。



NPO法人石鎚森の学校
現事務局長

まさふみ
十亀 雅史さん

今年3月から事務局長に就任。団体の活動には昨年から参加。前事務局長やメンバーの思いを引き継ぎ、ともに活動を続けていけるよう団体の在り方を模索中

NPO法人石鎚森の学校
前事務局長

ひでし
曾我部 英司さん

18年前、成就地区の自然の素晴らしさに感銘を受け団体を設立。本業の石鎚神社職員の傍ら、多くの人に石鎚山の魅力を伝えようと活動を続けてきた。2月で事務局長を退任

詳細は▼



1_お山開き案内人の様子 2_森林保全整備を体験。多くのボランティアが参加 3_広がるニホンジカによる食害。草木がなくなり、土壌の流出につながる 4_夏の自然観察会。生きものや石鎚山の伝承などの解説を受けながら森を進む 5_ホシガラス。全身の白い斑点が特徴 6_5月上旬に咲くアケボノツツジ

先人たちの息遣いが聞こえる まさに神います山



石鎚神社
まさと
武智 正人宮司

石鎚山は、太古の昔より「神います山」と崇められ、修験道の祖といわれる役行者によって、約1340年前に開山されたといわれています。それ以来お山そのものを神（神体山）として仰ぎ、登拝する石鎚信仰が広まりました。登拝するだけでなく、漁師が方角の目印にしたり、農家が山の雪の解け具合を見て植物の種をまいたり、西条の人々はこのお山とともに生きてきました。また、その神々しく雄々しい姿は、日々の暮らしの中の支え、寄りどころ

であったのではないかと思います。ただ高いからというだけでなく、神様がおられること、1000年以上ずっと祈りや感謝を捧げるために、あの参道を通して何十、何百万人という人がお参りされてきたことから、何か不思議な感覚を感じるという方も多くいらっしゃる。ふるさと西条のお山ですから、ぜひ一度お登りになって、神様にお近づきになってください。あなたのご先祖様もその景色を見ていたかもしれませんよ。



1_日の出を待つ瞬間は全員がほぼ無言になる 2_毎年7月1日～10日まではお山開き大祭の期間。多くの人が訪れる

「よく他県から来た人には、『いい山ですね』って言われます。そんなに大きい山じゃないんだけど、全ての要素がコンパクトに濃縮されているから、自然や山の良さを短時間で体験できる。日帰りでもいろんな経験ができますよ」と話す曾我部英司さん。標高差が激しいことで気温差も大きい石鎚山では、ふもとから歩くと四国から東北地方までの植生があり、貴重な動植物の宝庫です。その魅力に気付いたのは、自然インストラクターに成就のピクニック園地を案内してもらったとき。「20年以上成就社まで通っていたけど、僕にとってそれまで単なる通勤路でしかなかった。もったいないことしてたな。身近にある自然の素晴らしさをもっと広めたいの思いから、団体設立へと至りました。曾我部さんは「疲れたときは、自然に入ってみてください。ロープウェイで登ってくるだけでも空気が全然違う。普段の生活でまとった鎧のようなものが取れて、心が軽くなりますよ。自然の中では、格好つける必要がないですから」。

少しでも自然に足を踏み入れてもらおうと、成就地区での自然観察会（8月と2月に開催）や通年開催のガイドツアー（お山の案内人）、森林保全のボランティア体験などさまざまな取り組みを行っています。成就社にある倉庫のシャッターに描かれたにぎやかな絵は、県内高校の美術部に声を掛けて描いてもらったもの。「最近レクリエーションの幅が広がって、簡単には人が集まらない。これから森林保全などを継続して行っていくには、やはりボランティアの人手が必要。そこに楽しみや喜びを見出すような機会を作って、輪を広げていきたいですね」。これまでの活動や曾我部さんの思いは、次代へ引き継がれます。「山ってしんどい、厳しいっていうイメージがあるかもしれませんが、石鎚山には色んな側面があって、私たちを包み込んでくれるよ、もっと身近な存在なんだよって、そんな風に感じてもらえるような活動をしていきたいと思います」と、十亀雅史さんは優しいまなざしで語ってくれました。

やっぱり自然っていいよね

身近に感じてもらえる山に



この夏、石鎚山系へ

石鎚山系の良さの一つは、市内から近いこと。登山はもちろん、サイクリング、SUP、ドライブなど楽しみ方は人それぞれ。さあ、大自然に足を運んでみよう。



登山



変化に富んだトレイルを味わえる

生い茂る原生林や一面のササ原、ガレ場や鎖場など景観や難易度のバリエーションが豊富です。山頂まで登らなくても、季節や時間帯によって多様な山々の表情に出会えます。



石鎚山はよく整備されて歩きやすかったです。すれ違う人たちが声を掛けてくれたので、気持ち良く登れました。無事頂上に着いて神様に会えたので、何かいいことあるかな～



SUP



風のささやきを感じてみませんか



西条アウトドアサービス
上田 公彦さん



街から近くて、これだけきれいな水の遊び場がある場所は珍しいです。夏でも水温が低く、川の上は天然の空冷機。西条アウトドアサービスでは、1グループ制で、幼児から高齢者の方まで参加できるメニューを用意しています。今後もこの豊かな自然を楽しむための知恵や安全管理も伝えていきたいですね。



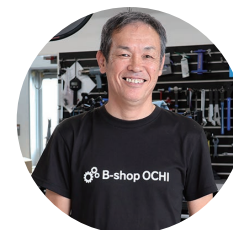
ライフジャケットは必ず着用を！

近年市内でも水難事故が起きています。年齢や体のサイズに合ったものを正しく着用し、安全に楽しみましょう。



右_黒瀬ダムからの眺めは絶景 左上_お店を拠点に実施するサンデーライド。誰でも参加できる 左下_E-バイクは坂道も楽しい

サイクリング



B-shop OCHI
越智 健二さん

海も山も楽しめる！ 最高の環境

石鎚山系は、海から山までの距離が近く、1日でたっぷり大自然を満喫できます。スポーツに特化したE-バイク（電動アシスト付きスポーツバイク）だと、体力に自信がない方でも気軽に体験可能です。おすすめのコースは、禎瑞地区の龍神社から加茂川を上っていく東宮までのコース。徒歩より行動範囲が広く自分のペースで走れるので、サギの群れに出会うなど、見慣れた景色でもきっと新しい発見がありますよ。



市内レンタサイクル情報

- B-shop OCHI
TEL0897-55-2048
- 西条市観光交流センター
TEL0897-56-2605
- ソラヤマいしづち
TEL0897-47-6030
- WINDS BIKES
TEL0897-55-0410